

「**心で工学**」を合言葉に、  
社会変革を先導する大学を目指して



ものづくり ひとづくり 未来づくり

# 中京地域産業界との共創 ミッション・ビジョン

# 名古屋工業大学憲章

## 基本使命

名古屋工業大学は、日本の産業中心地を興し育てることを目的とした中部地域初の官立高等教育機関として設立されたことを尊び、常に新たな産業と文化の揺籃として、革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、これからの社会の平和と幸福に貢献することをその基本使命とする。

## ものづくり

名古屋工業大学は、構成員の自由な発想に基づく実践的かつ創造的な研究活動を尊ぶとともに地球規模での研究連携を推進し、既存の工学の枠組みにとらわれることなく、工学が本来有する無限の可能性を信じ、新たな価値の創造に挑戦する。

## ひとづくり

名古屋工業大学は、自ら発見し、創造し、挑戦し、行動することで、工学を礎に新たな学術・技術を創出し世界を変革することのできる個性豊かで国際性に富んだ先導的な人材の育成に専心する。

## 未来づくり

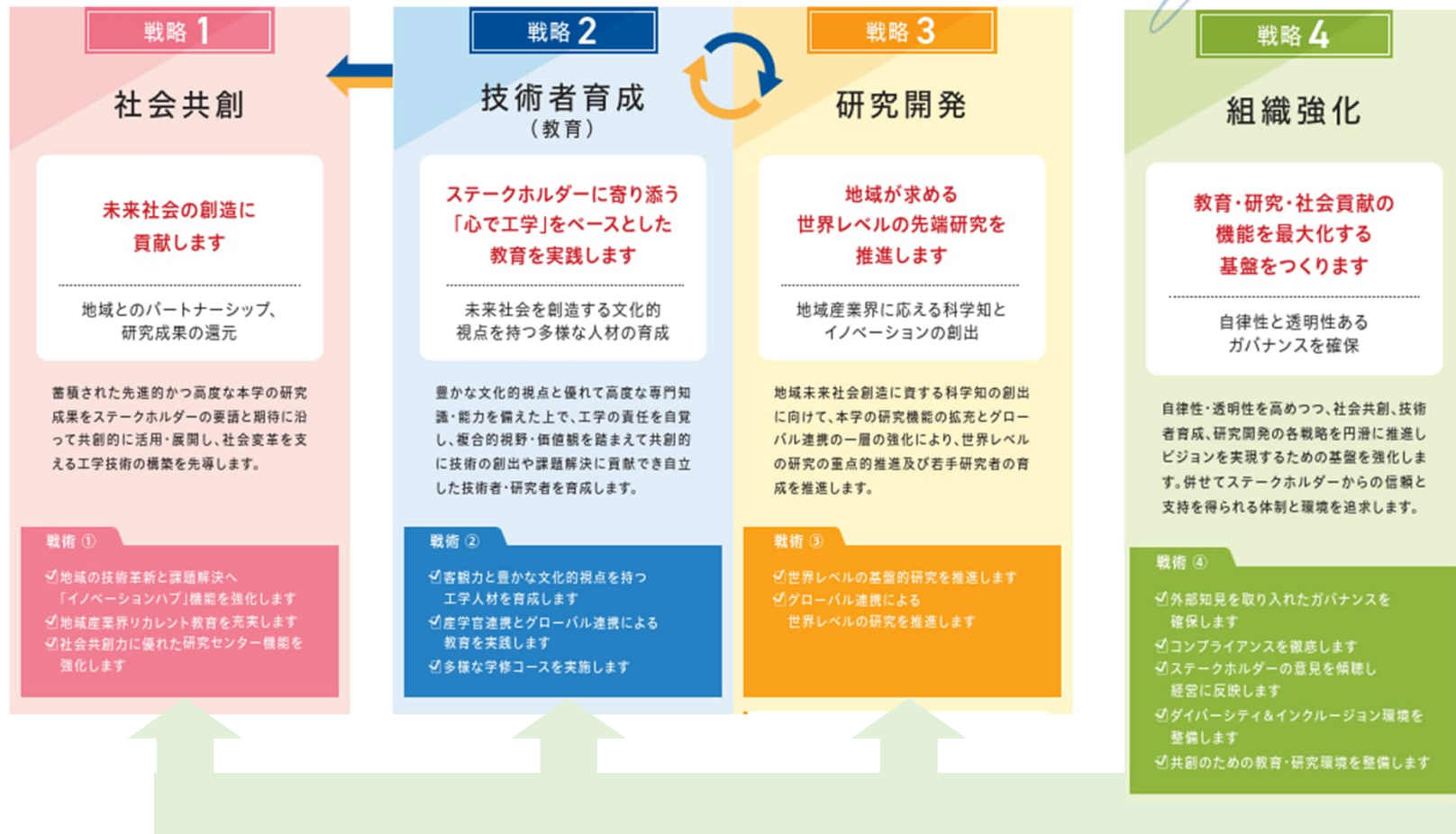
名古屋工業大学は、国民から負託を受けた開かれた大学として地域および国際社会との調和と連携を重視し、ものづくりとひとづくりを通して平和で幸福な未来社会の実現に向けて邁進する。

「心で工学」

## 第4期中期目標期間のビジョン



# 中京地域産業界との共創 ミッション・ビジョン



# 数字から知る 数字でわかる名工大



# 学生数・教職員数データ

## 学生数・ 教職員数

- ◇工学部:3,897人
- ◇工学部(夜間主):107人
- ◇大学院工学研究科  
博士前期課程:1,484人  
博士後期課程:185人

学生数



5,673人

約17%  
が女子

役員・教職員数



575人

- ◇役員:6人
- ◇教員:353人  
(特定有期雇用職員を含む)
- ◇一般職員:216人

[2023年5月1日現在]



## 女子推薦入試の拡大

### 女子入学者比率(%)

年度	1993	2009	2023
電気・機械工学科 (旧・機械工学科)	1.3	8.8	12.7
大学全体	7.0	12.1	16.9

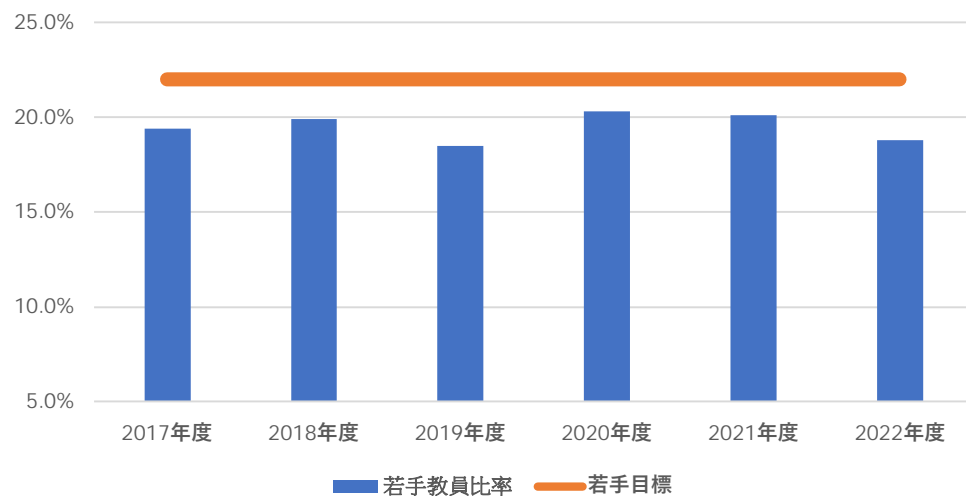
### 女子特別推薦

2023年度以前		2024年度以降	
学科名	募集人員	学科名	募集人員
電気・機械	15名	物理	5名
		電気・機械	15名
		情報	5名
		社会(環境都市)	3名
計	15名	計	28名

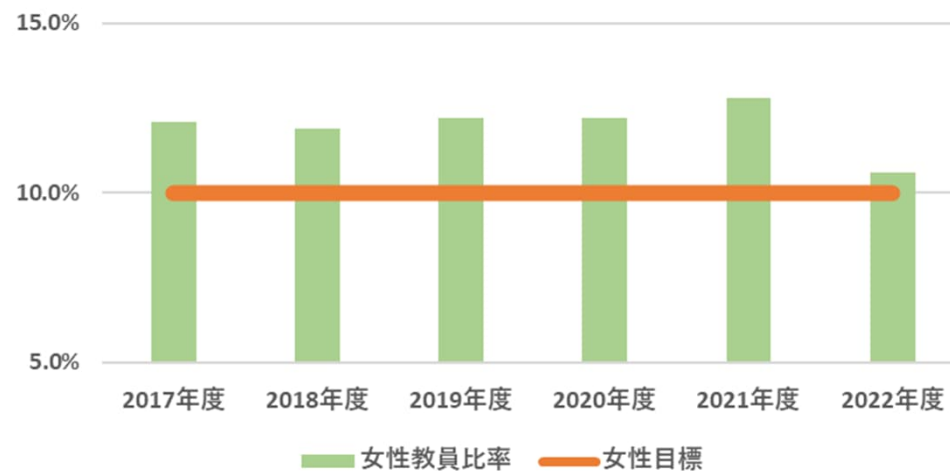
## 若手教員比率・女性教員比率の目標と現状

本学独自のスタートアップ助教制度や、教員公募で、「若手限定」「女性限定」の条件を付与する等の取組により、目標達成を目指しています。

### 若手教員比率の推移

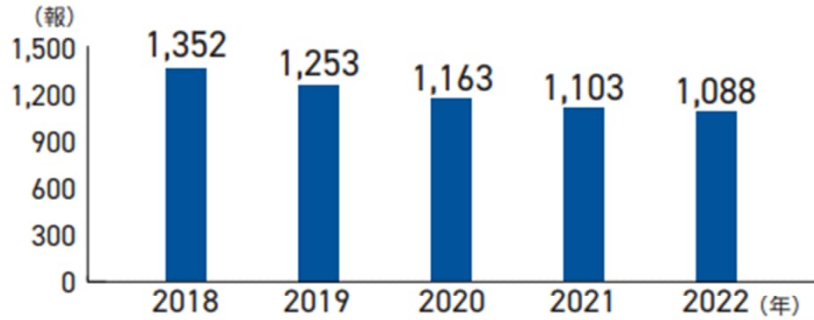


### 女性教員比率の推移



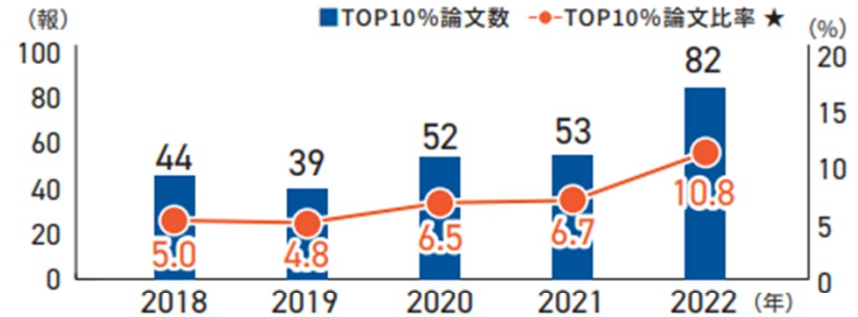
# 研究のデータ

## ◇ 論文数



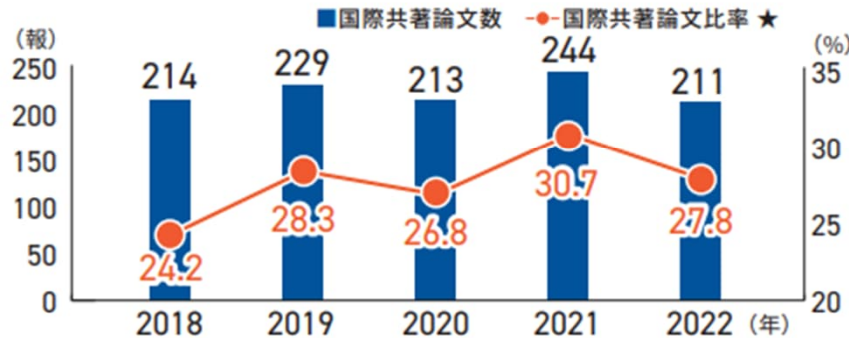
※Scopus (エルゼビア社) および学内研究者データベースより取得した英語及び日本語論文(査読有のみ) (2023年7月)

## ◇ TOP10%論文



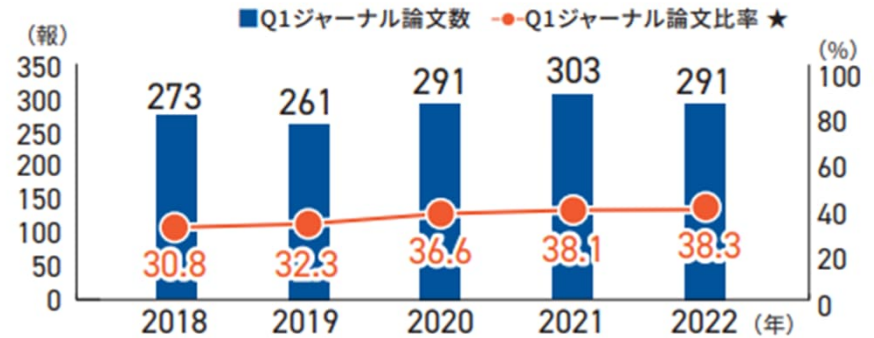
※Scopus (エルゼビア社) より取得 (2023年7月)  
 ※TOP10%論文: 論文の被引用数が各分野の上位10%に入る論文

## ◇ 国際共著論文



※Scopus (エルゼビア社) より取得 (2023年7月)

## ◇ Q1ジャーナル論文

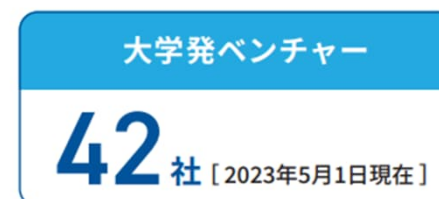


※Q1ジャーナル論文: エルゼビア社が提供するジャーナルの評価指数「CiteScore」が、各研究分野において上位25%以内のジャーナルに掲載された論文 (2023年7月)

★Scopusより取得した英語論文数における、TOP10%論文、国際共著論文、Q1ジャーナル論文の比率

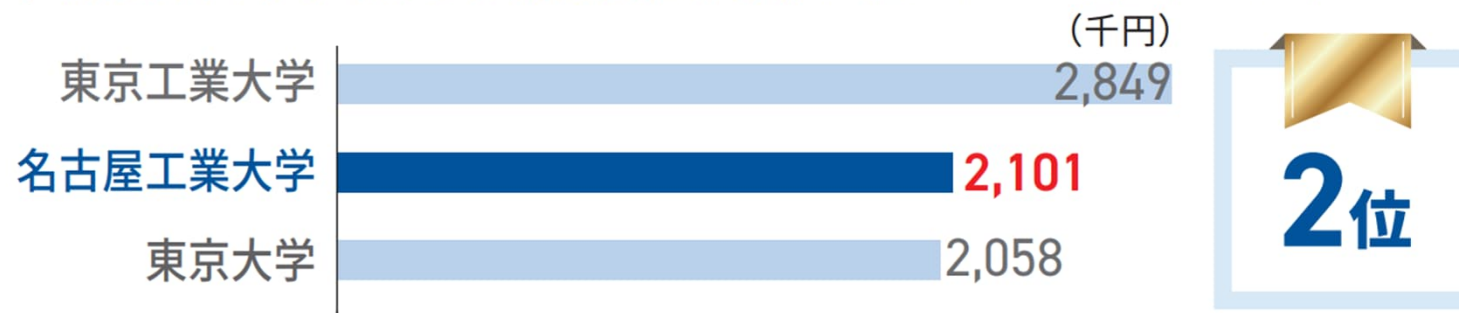
## 産学連携データ

### 産学連携



## 研究者1人当たりの研究費受入額全国2位

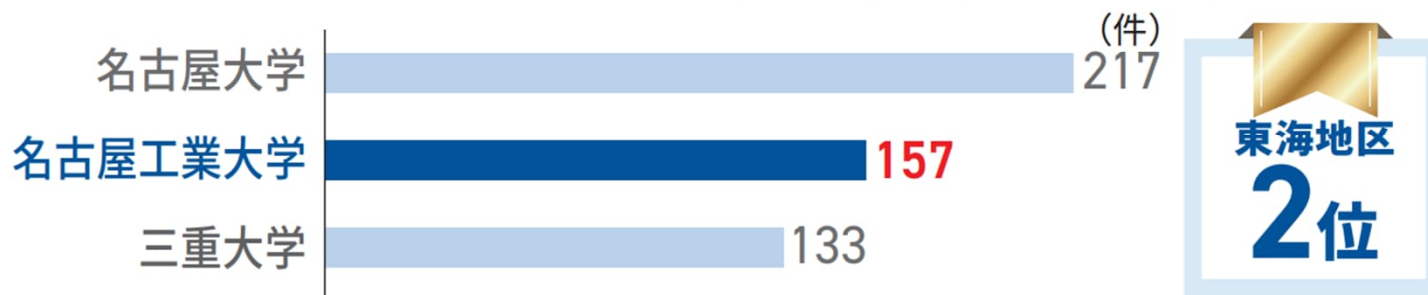
◇ 研究者1人当たりの研究費受入額 (民間企業との共同研究に伴う)※



※全国の大学等対象1,078機関における2021年度実績の順位。文部科学省「令和3年度 大学等における産学連携等実施状況について」2023年(令和5年)2月10日公表。

## 地域社会との産学連携関係 東海地区 2位

◇ 地域社会との産学連携関係 (同一県内企業及び地方公共団体との共同・受託研究実施件数(地方別))\*

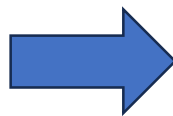


\*全国の大学等対象1,078機関における2021年度実績の順位。文部科学省「令和3年度 大学等における産学連携等実施状況について」2023年(令和5年)2月10日公表。

## 組織的大型連携プロジェクト（1千万円以上）の拡大

### 目標

2027年度末期間累計  
12件以上



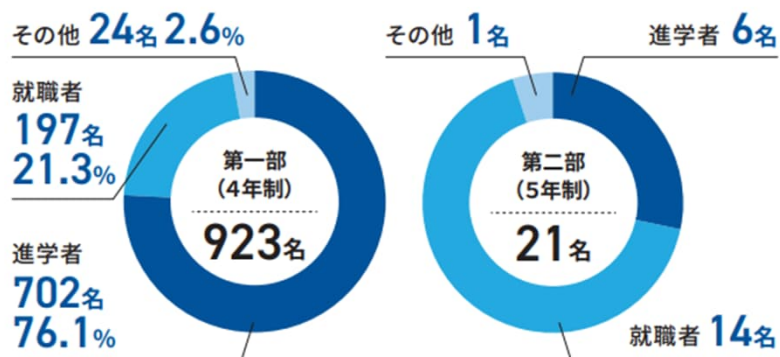
### 実績

2022年度 17件  
2023年度 13件(10月時点)  
2024年度  
2025年度  
2026年度  
2027年度

# 進学・就職データ

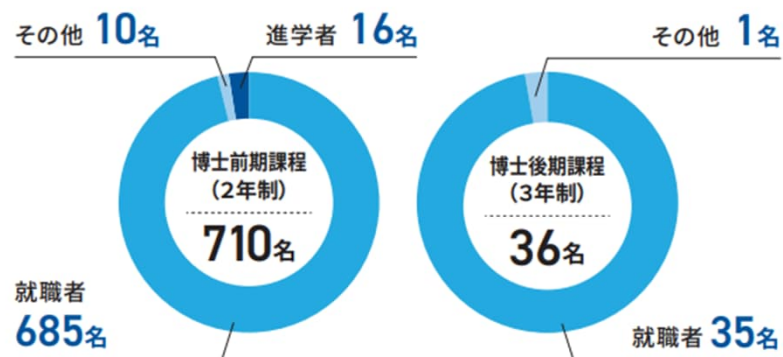
※2022年度卒業・修了者

## 工学部



※現職者32名(第一部1名、博士前期課程12名、博士後期課程19名)を含む。  
 ※就職進学者(博士前期課程1名)を含む。

## 大学院工学研究科



学部一部 約**76%**が進学。

2023年実就職率ランキング  
(卒業生1,000人以上の大学)


国立大学  
ランキング **2**位

(大学通信調べ)

未来社会を創造する  
文化的視点を持つ多様な人材の育成  
教育の活動



# 社会が求め、信頼する技術者・研究者の育成

学部 (工学部)	大学院 (工学研究科)	
	博士前期	博士後期
<p><b>高度工学教育課程</b> <span>〈 中核的技術者・研究人材の育成 〉</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生命・応用化学科</li> <li>物理工学科</li> <li>電気・機械工学科</li> <li>情報工学科</li> <li>社会工学科</li> </ul>	<p><b>工学専攻</b> <span>〈 新たな価値を創造して協奏的に社会を変革する人材の育成 〉</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(生命・応用化学系プログラム)</li> <li>(物理工学系プログラム)</li> <li>(電気・機械工学系プログラム)</li> <li>(情報工学系プログラム)</li> <li>(社会工学系プログラム)</li> <li>(社会人イノベーションコース)</li> </ul>	<p><b>工学専攻</b></p> 
<p><b>創造工学教育課程</b> <span>6年一貫教育</span> 〈 多面的視野を持つ開発人材の育成 〉</p>	<p>(創造工学プログラム)</p>	
<p><b>基幹工学教育課程</b> <span>夜間主</span> 電気・機械工学コース／環境都市工学コース 〈 基幹技術の展開を具現化する創製人材の育成 〉</p>	<p>共同ナノメディシン科学専攻 国際連携情報学専攻 国際連携エネルギー変換システム専攻 (2024年4月開設)</p>	

# リベラルアーツの強化充実

共通科目(人間社会科目) のカリキュラム

2023年度 (3区分)

技術と人間・心理

技術と歴史・哲学

技術と社会・国際

2024年度 新区分追加

技術と芸術・文化



2023年度 (3区分、計26科目) から、  
2024年度(4区分、計34科目) のカリキュラムに変更し、「STEAM教育※」を網羅



※Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Arts (芸術)、Mathematics (数学) の5つの領域を統合的、横断的に学ばせることで、実社会で役立つ問題発見力・解決力の修得を目指す教育

追加された9科目

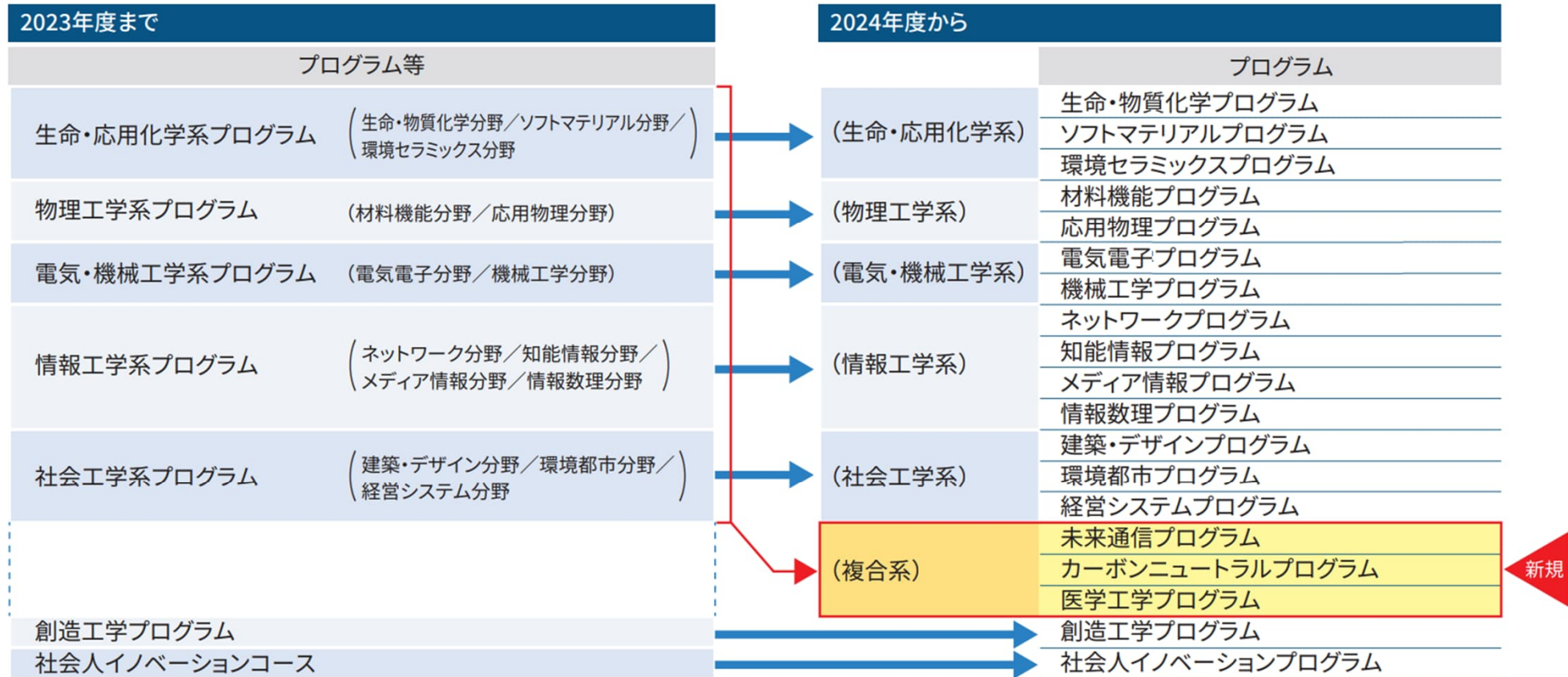
技術と芸術・文化		
美学	文学	宗教文化論
美術史	異文化理解	感性と社会
音楽論	日本文化論	芸術・文化特殊講義

2024年度から新設の「技術と芸術・文化」分野の9科目

# 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの拡充

コース	目的
 <p><b>数理情報ベースコース</b> 認定：2026年3月31日まで</p> <p>数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 リテラシーレベル</p>	<p>数理情報の理論的基盤である「統計学・計算機科学・数学」のうち、統計学及び数学の基礎的な知識を身に付け、与えられたデータに対して基本的な解析と統計的推測及び得られた知見を他者に伝える基本的な能力を修得する。</p>
 <p><b>数理情報スタンダードコース</b> 認定：2027年3月31日まで</p> <p>数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 応用基礎レベル</p>	<p>数理情報の理論的基盤である「統計学・計算機科学・数学」のうち、統計学及び数学の基礎的な知識を身に付け、自身の専門分野における研究・開発過程で生じたデータに対して、必要な解析と統計的推測及び得られた知見を他者に伝える基本的な能力を修得する。</p>

# 大学院博士前期課程プログラム・コースの改編



# 世界へ挑む研究 研究の活動



# 世界レベルの先端研究・若手研究者の育成を推進

## ◇新領域学術院

### 海外研究者招へい

海外から研究者を招へいし、国際共同研究を活発化させるとともに、若手研究者の国際的な視野を広げる

### 若手研究者の育成

博士後期課程学生・ポスドクの研究プロジェクト参画

### 産学官金連携

学外機関との学術交流



次世代を担う  
イノベーションリーダー  
の育成

異分野融合による  
新しい研究分野の創生と  
国際共同研究拠点の構築

# 社会連携による研究成果の還元 社会連携の活動



## 主なリカレント教育の取組

主なリカレント教育の取組	
3D-CAD 設計技術者育成講座	社会人技術者を対象に3D-CADの講習を実施。 終了時には評価認定試験によって受講生個人の評価を行い、本学が認定する修了証を発行
工場長養成塾	東海地域の中堅・中小企業の意欲ある工場長およびその候補者を対象とし、 製造現場での問題点に気づく「力(ちから)」を養い、自ら考え行動する工場長の育成を目指す
ロボット・AI・IoT 人材育成講座	ロボット・AI・IoTの導入及びサイバーセキュリティ対策に必要な技術を習得し、 導入・管理・運用ができる人材の育成を目指す
女性技術者リーダー 養成塾	製造業に勤めている意欲的な女性技術者を対象とし、キャリアデザインやプロジェクトマネジメント等の 幅広いテーマ、かつ実践的なプログラムで、女性技術者のステップアップをサポート
公開講座	社会人向け講座のほか小学生や中高生を対象とした講座も開講

# 御器所が丘にアートの風を アートフルキャンパス構想

名古屋工業大学+愛知県立芸術大学が歩む世界

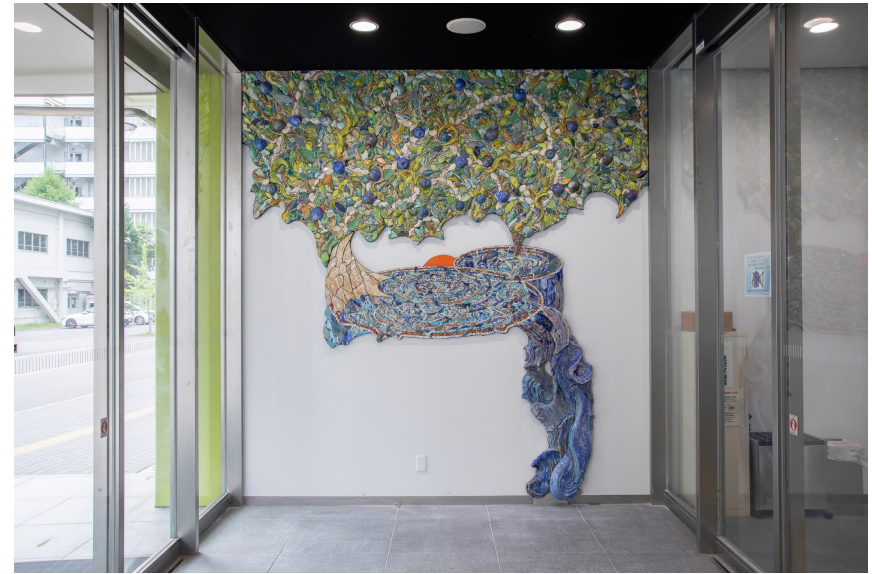
# ARTFUL CAMPUS

名古屋工業大学  
+  
愛知県立芸術大学

# アートフルキャンパス 展示物①



砂漠のガーデン (23号館)

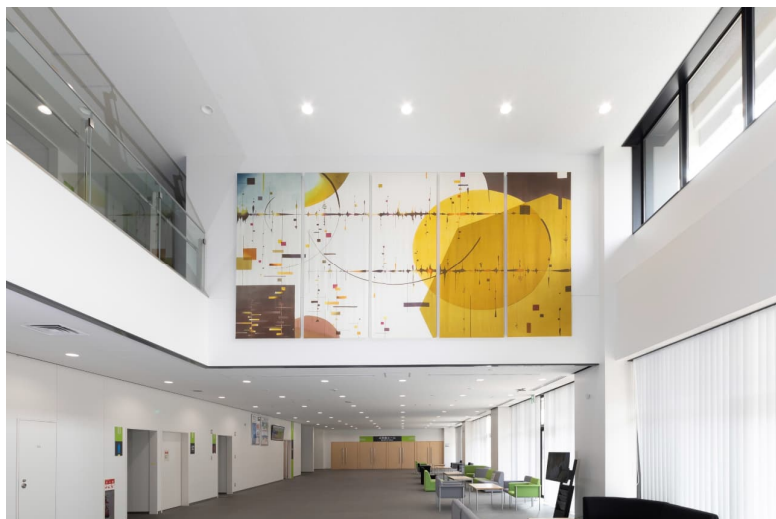


Sustainability (4号館)



Hallelujah (51号館)

## アートフルキャンパス 展示物②



ある日の思考(4号館)



笑ってほしい (NITホール)



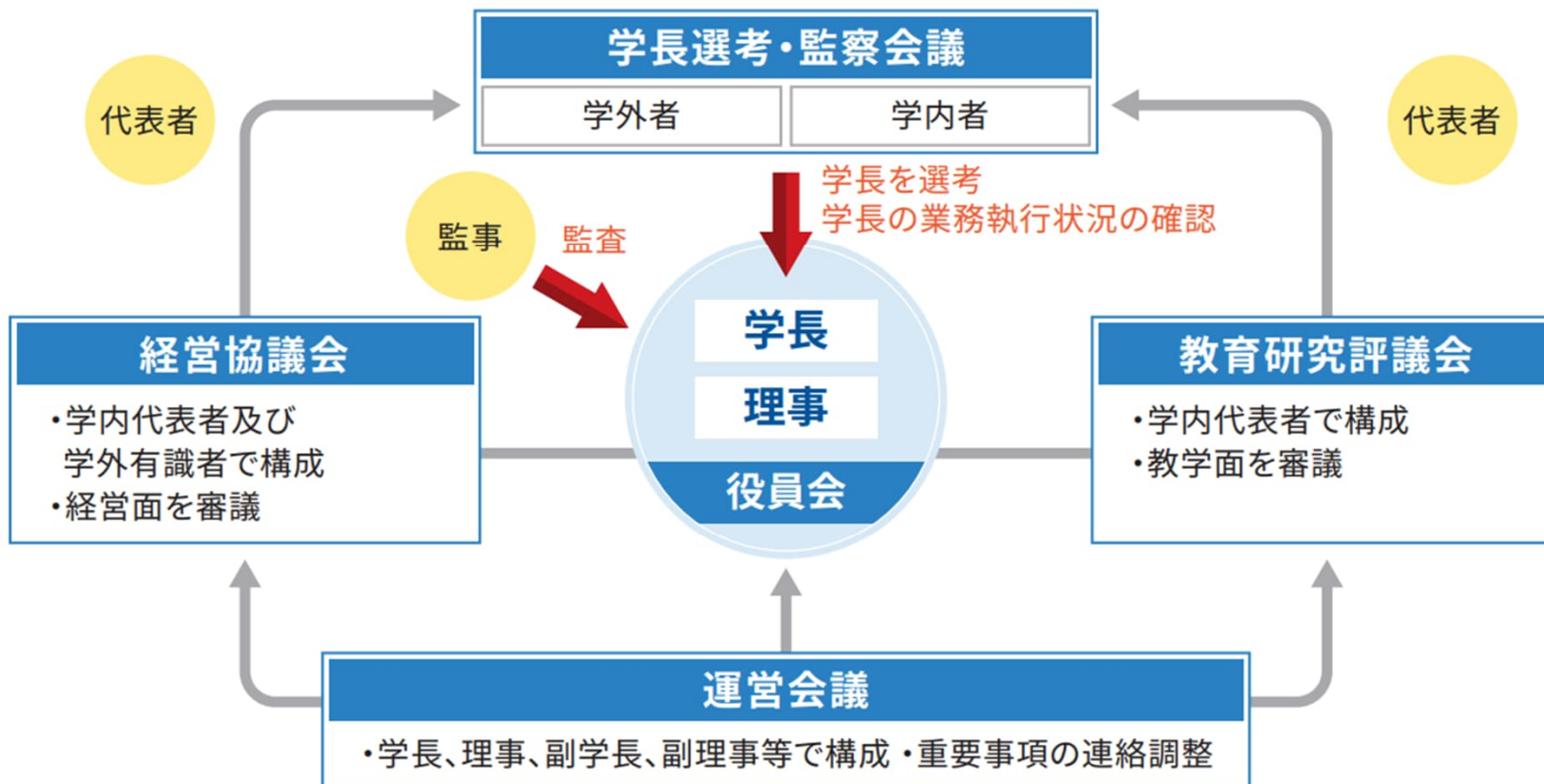
MEET A NEW SELF (図書館)



# 組織体制

## 自律性と透明性のあるガバナンス体制

# ガバナンス体制





# 持続可能な財政運営 2022年度 財政状況など

# 大学運営の通信簿

## 2022年度 損益計算書 ハイライト

### 光熱費高騰も外部資金増で見た光 研究力をエネルギーに 第4期好スタート

世界的なエネルギー価格高騰の影響を受けながらも、本学の強みである研究力を活かし、第4期は順調な滑り出しとなりました。



#### 費用

教育研究活動に  
要した費用

**125** 億円 **12億円** ↑

#### 利益

経営努力により  
発生した利益など

**61.5** 億円 **56億円** ↑

#### 収益

教育研究活動の  
ための源泉

**187** 億円  
**69億円** ↑

# 大学財政の診断書

## 2022年度 貸借対照表 ハイライト

### リニューアルした建物と快適Wi-Fiで キャンパスに新たな風を

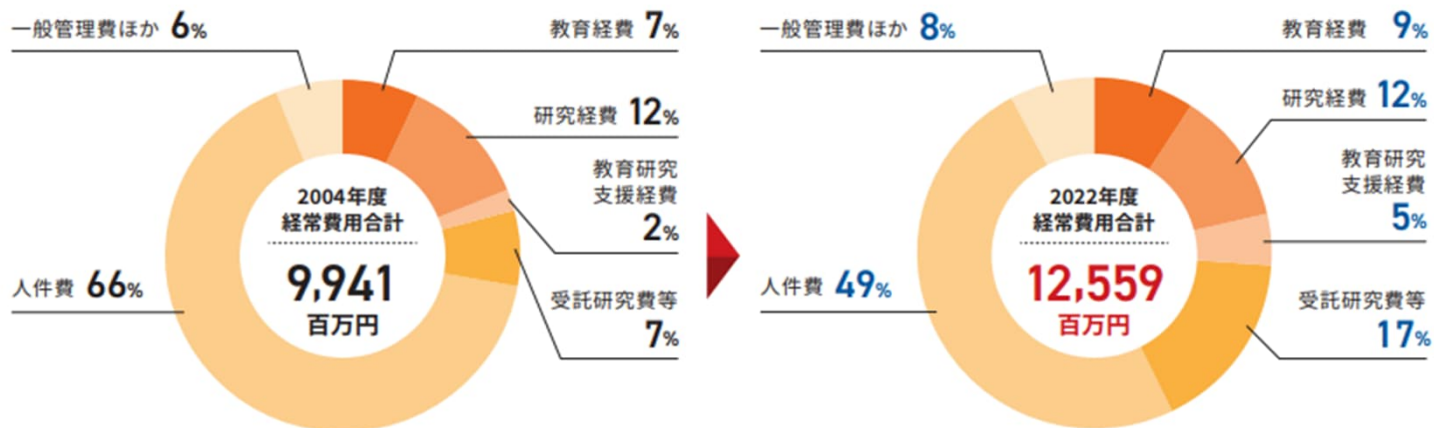
安心・快適な環境を整備するだけでなく、大学の未来をつくる投資も行い、より戦略的な財政運営に繋げた1年でした。



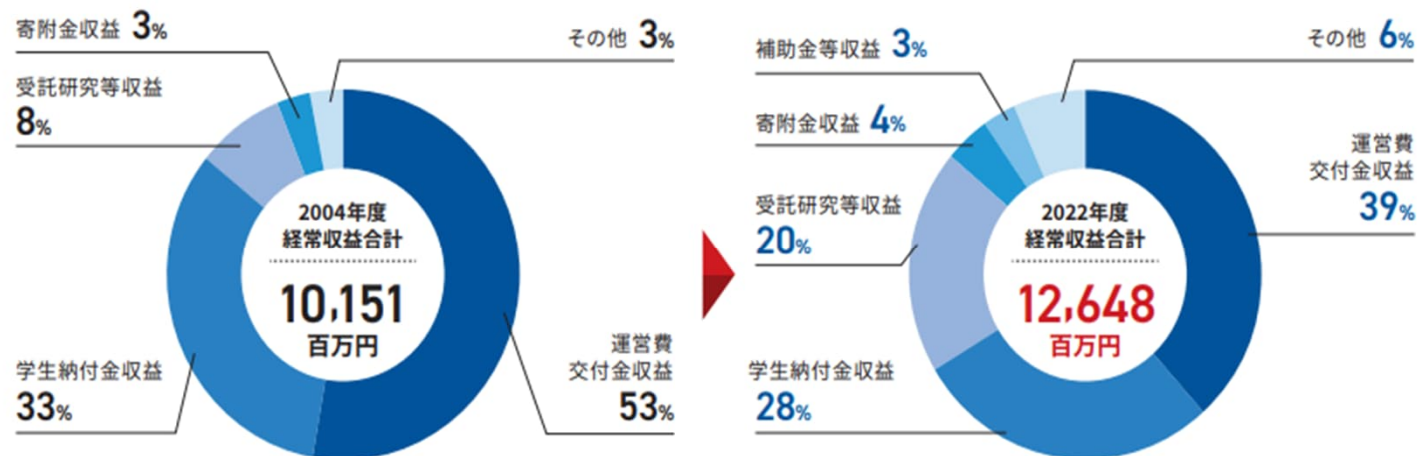
資産		負債	
教育研究のための建物や設備など	348 億円	返済の必要のない債務	115 億円
	1.8億円↘		62億円↘
寄附により取得した株式など	81 億円	未払金や将来支払うリース料など	35 億円
	6億円↗		5億円↗
現金や預金など	48 億円	負債合計	151 億円
	0.9億円↗		57億円↘
資産合計	478 億円	純資産	327 億円
	5億円↗	国からの出資金など	62億円↗

## 法人化時からの変化（2004年度→2022年度）

### 経常費用



### 経常収益



# 教育コスト

コスト内訳		(単位:百万円)
	2022年度	
教育経費	1,152	
教育研究支援経費・ 管理費その他	735	
教員人件費	1,783	
職員人件費	761	
合計	4,433	

## 教育経費の主な用途

- ▶ 授業料免除、学生への奨学金
- ▶ 教育用設備の整備・  
維持管理費
- ▶ 授業用の教材及び試料等
- ▶ 学生寮等の維持管理費

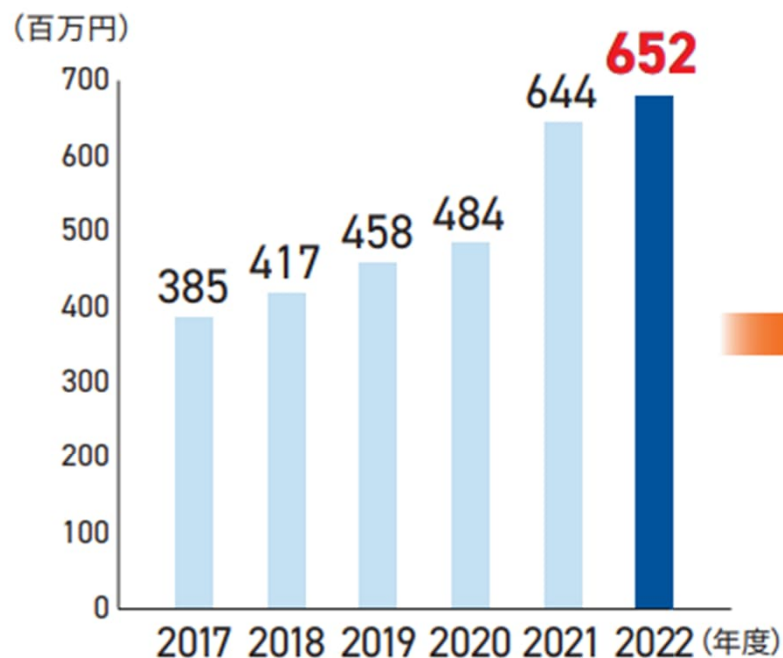
2022年度  
学生1人当たりの  
教育コスト

約**77**万円/年

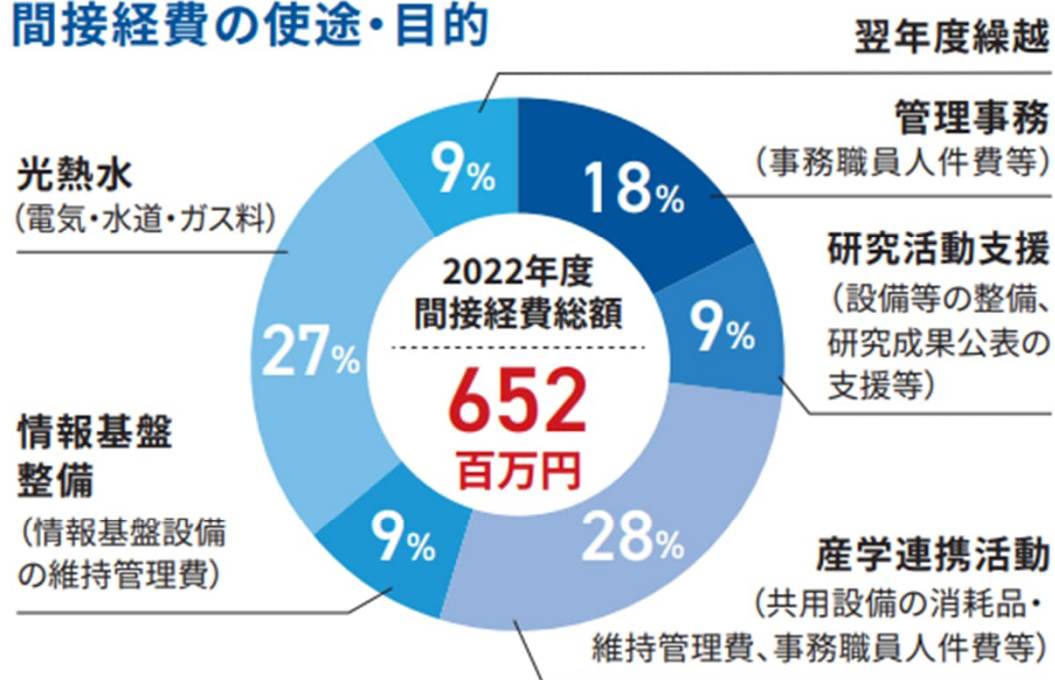
[ 参考 ]  
1年間の授業料/約53万円

# 間接経費

## ◇ 間接経費受入額の推移



## ◇ 間接経費の使途・目的





# 寄附のお願い

世界へ羽ばたく多くの学生・研究者を支援するため、皆様からのご寄付・ご支援をお願いいたします。

## 基金の種類と事業内容

### 一般基金

- ・学生への支援
- ・学術研究振興の助成
- ・社会貢献活動への支援
- ・国際交流の推進
- ・教育研究環境等の整備充実等

### 特定基金

- あらかじめ用途を限定した特定の活動を支援
- ・ひとづくり未来基金
  - ・若手研究者支援基金
  - ・アートフルキャンパス整備基金
  - ・女性活躍支援基金
  - ・課外活動等の支援基金
  - ・その他の活動の支援基金

### 現物資産基金

- ・大学運営
- ・学生への支援
- ・教育研究活動への支援
- ・社会貢献活動への支援
- ・研究成果の普及及び活用の促進

## 2022年度 基金の活用実績

### 一般基金

活用額 ..... **27,590,146円**

#### 一例

- ▶ 学会・論文発表等を活発に行い、実績をあげた学生に奨励金給付 (48名) ..... **2,850,000円**
- ▶ 学生に対し、海外での活動を支援するために渡航旅費・滞在費を支援 (32名) ..... **7,200,000円**

### 特定基金

活用額 ..... **21,801,025円**

#### 一例

- ▶ 学生フォーミュラプロジェクト (ものづくり実践教育) 基金  
車輛制作に必要な消耗品等 **3,209,303円**
- ▶ 馬術部応援基金  
エサ代等 **1,531,511円**



皆様からの寄付金は、本学の教育研究、社会貢献、国際交流などの活動支援に活用させていただきます。



ご寄付、ご支援はこちらから  
本学公式ホームページ>名古屋工業大学基金ページ>名古屋工業大学に寄付する  
WEB <https://www.nitech.ac.jp/kikin/donate/>



# その他の気になるトピックス

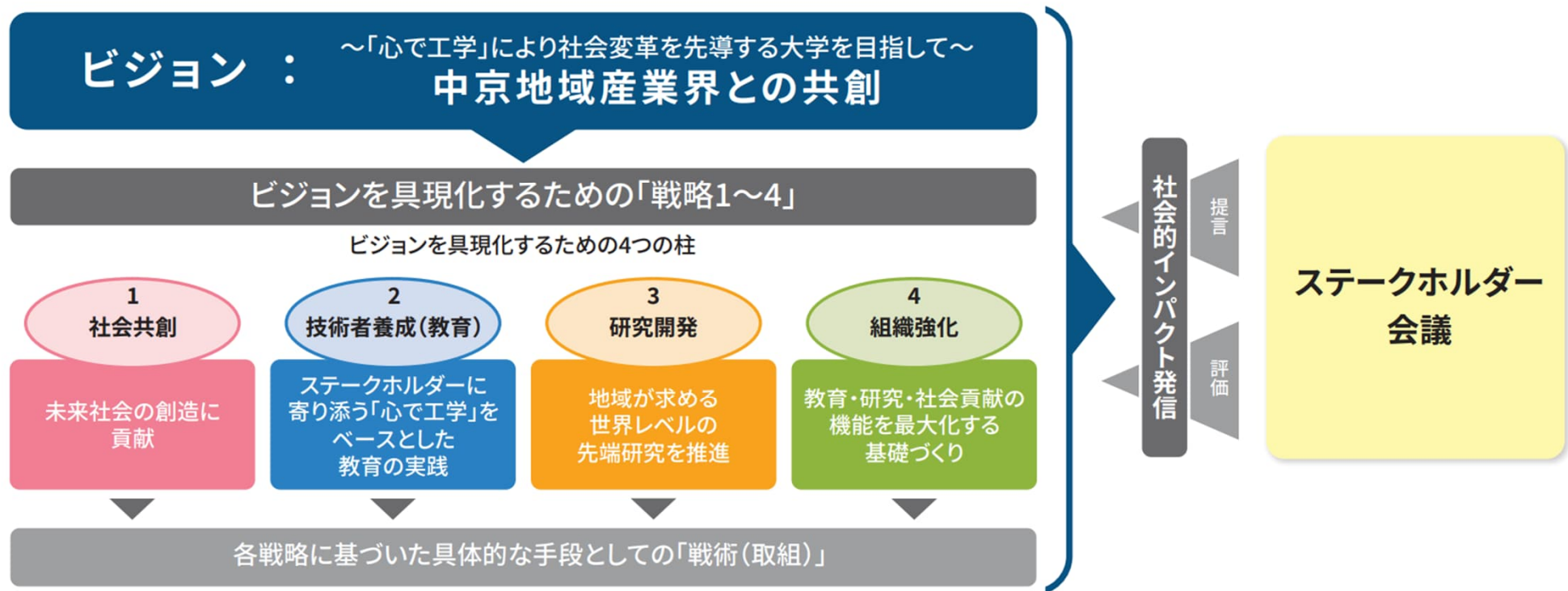
## 初の女性副学長誕生



吉田 江依子

副学長(共通教育改革担当) / 大学院工学研究科 / 基礎類 教授

# ステークホルダー会議の新設



## ドイツのFAUとの連携拡大（JDの国際連携エネルギー変換システム専攻）



## 名古屋大学医学部・大学院医学系研究科及び大同大学との連携



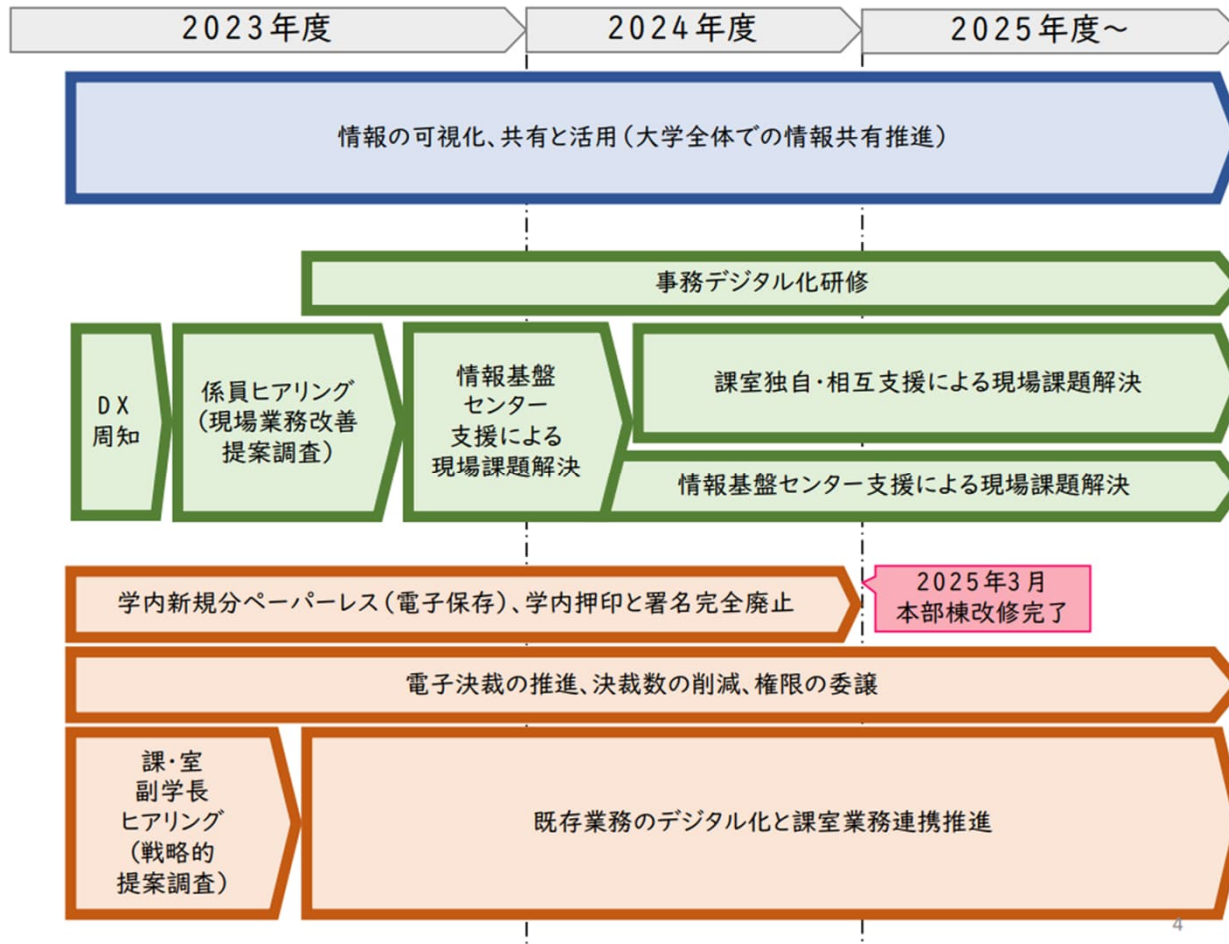
名古屋大学医学部・大学院医学系研究科と連携・協力に関する基本協定書を締結した時の様子



大同大学と連携・協力に関する基本協定書を締結した時の様子



# DXロードマップと本部棟改修



本部棟改修後の4FのEVホールのイメージ図

## 次期学長候補者に小畑誠氏が決定





# 名古屋工業大学レポート2023のご案内

より詳しく 名工大の事が知りたい方へ

ステークホルダーの皆様に向けて、

**「名古屋工業大学レポート2023」**を発行しました。

本学の教育研究・社会貢献活動、

財務などの情報をわかりやすくお伝えし、

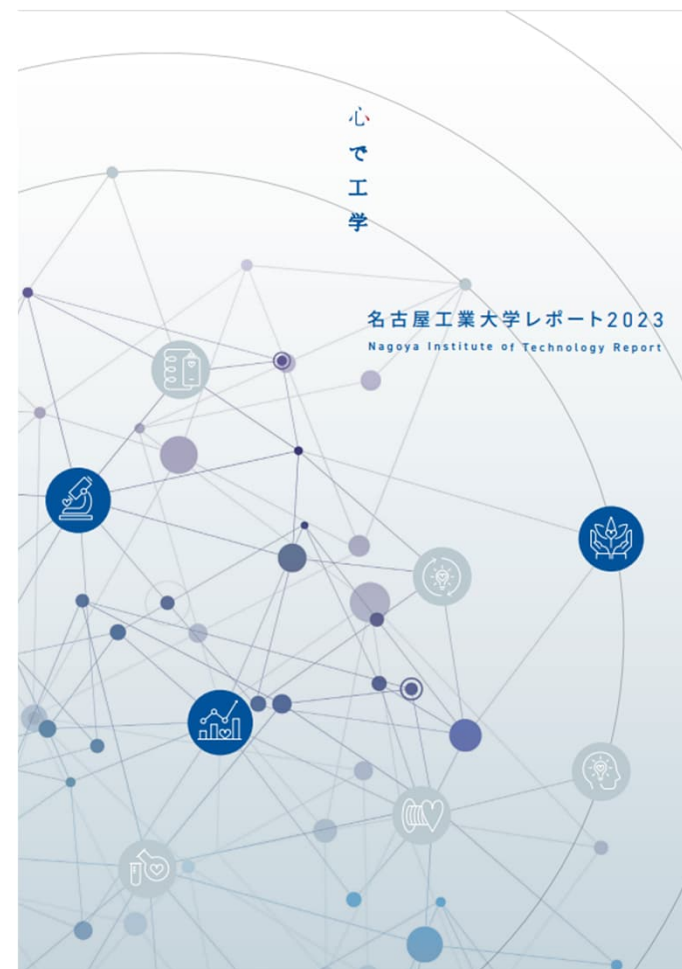
本学をご理解いただくための入り口となっております。

ぜひご覧ください。

詳しくは、

本学公式ホームページ>大学紹介>名古屋工業大学レポート

WEB <https://www.nitech.ac.jp/intro/report.html>



# ステークホルダーの皆様との対話 質疑応答